

阪神・淡路大震災で、大きな道路がたおれているのを見て、わたしは二人なりに大きな道路がたおれるほど、大きな地震だ、たんだなと改めて感じました。新聞の役割がわたしたちを励ます記事と、いうことをし、又わたしたちのために、いっしょうけんめい新聞を作ってくれているんだと思いました。もしそのために、ひなん場を話し合ったり、ぼうさいがばんを用意したりいろいろとじゅんびをし、て、いつ地雨辰がおきても、だいじょうぶなようにしておこうと思っていました。